

### 町住民税務課による 租税教室

山形県租税教育推進協議会の租税教育が7月12日に舟形小学校6年生を対象に、26日には舟形中学校3年生を対象に、町住民税務課職員が講師となり開催されました。この教室は、次代を担う児童・生徒が税の意義や役割を正しく理解してもらうこと、また、社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、社会のあり方について主体的に考えようという自覚を育むことを目的としています。



黒板に税の種類をする小学生

小学生は税金の種類の違いに驚いたり、直接税と間接税の違いなどを学びました。また、税金によって教科書が作られていることや、教室や通路が整備されていることなど、税金を身近に感じることができました。中学生は税金から政治へと話題が広がっていき、税金の使われ方から選挙などへの関心を示していました。授業後の質問では「消費税はこれから下がることはありますか」などの質問があり、税と私たちの生活への関連性をより具体的に考えられる機会となりました。



1億円のレプリカ入りケースの重さを体験

### 新庄・最上ジモト大学



「新庄・最上ジモト大学」は『高校生が旅立つ前に学ぶこと』をキヤッチフレーズに、地域のことを知り、学ぶために最上地域全体で取組んでいる事業です。8月2日〜3日、舟形町では「おかえり！ 孫プロジェクト」の一環として、公務員の仕事に興味を持つ高校生を対象にプログラムを提供し、町内外から5名が参加。役場職員の業務に密着し働き方を観察したり、町の課題への意見交換を行ない、公務員の仕事についての理解を深めました。

### 世田谷区舟形町 児童交流学習事業

7月22日〜24日、児童交流が行われ、舟形小学校32名と世田谷区立代沢小学校84名、同区山崎小学校54名の5年生児童が交流しました。川遊びや花笠踊りを楽しむなど、3日間をともに過ごしました。児童たちは別れを惜しみながらも、秋の再開を約束していました。



### 麻布地区サマースクール in 舟形

8月4〜6日の3日間、サマースクールが開催されました。この交流は、昭和48年に港区立飯倉小学校との児童交流学習から始まったもので、今年で50周年となります。町を訪れた39名は、鮎つかみ体験や真夏の雪遊び体験など、町ならではの夏を存分に楽しむことができました。



### 最上小国川 鮎釣り甲子園大会



7月29日、最上町内の最上小国川流域で、高校生を対象とした鮎釣り甲子園大会が開催されました。この大会は県と舟形町、最上町、小国川漁協が実行委員会を立ち上げ開催しているもので、今回で4回目となります。約30名の最上地域などの高校生が参加し、鮎釣り愛好家のサポートを受けながら次々と鮎を釣り上げていました。1位から3位の選手にはトロフィーのほか、舟形町産マッシュルームや最上町産アスパラガスなどの副賞が贈られました。

### スマホ講座で デジタル化を支援



町では8月1日よりスマホ講座を毎週開催しています。この講座はスマートフォンを活用することで、日常生活をより便利で快適にするだけでなく、防災や詐欺防止などにも役立ててもらおうことを目的としています。町民の誰もがデジタル社会の恩恵を受けられるよう、長沢、舟形、富長、堀内の各地区の施設で講座を開催しています。参加者は「これからさらに安心してスマホを使用できそうです」とうれしそうに話していました。

### 戦没者追悼式

8月14日、猿羽根山の忠魂碑前で戦没者追悼式が行われました。鏡副町長をはじめ齋藤町議会議長、伊藤教育長が参列し、過去の大戦で亡くなられた方々に対して黙祷や献花、追悼の言葉により哀悼の誠を捧げるとともに、世界の平和を祈念しました。



### あいさつ橋の美化活動

7月26日、内山老人クラブの笑生会（会長 伊藤光二さん）の約15名のみなさんが、あいさつ橋周辺の草刈りや清掃などを行いました。この活動はお盆を迎える前に毎年行われているもので、参加者は家族の無事の帰りを励みに作業に励んでいました。



### 明るいやまがた 夏の安全県民運動出発式



7月21日、ほほえみ保育園にて出発式が行われ、交通安全や事故防止を呼びかけました。

### 舟形小学校水泳記録会



7月26日、水泳記録会が行われ、3年生以上の児童たちは自己記録に挑みましました。

### 町職員の非常招集訓練 および避難所開設訓練



8月7日、町職員70名が、地域防災計画に基づいた訓練を行い、防災意識の高揚を図りました。